NPT3 セミナー演習資料

【プロジェクト管理＆リスク管理】

検討事項

皆さんはアセスメントチームの一員として、プロジェクト管理プロセス及びリスク管理プロセスの実践状況を調査した結果、下記のような状況が判明したとします。

この状況に対し、“演習で取り上げるプラクティス”に記載したプラクティスが効果的に実践されていると判断してよいでしょうか？

適切な判断を行うために、どのような点から追加の現状把握をすべきかを検討してください。

【課題１】

プラクティスの実践状況

プロジェクトでは、問題もリスクも同じ一覧表で管理している。その一覧表にはどれが問題でどれがリスクなのかは明記されていない。

演習で取り上げるプラクティス（SPEAK-IPA 版より引用）

＜プロジェクト管理プロセスのベースプラクティス＞

BP10 プロジェクトの目標が達成できないとき、計画からのずれを軌道修正している

＜リスク管理プロセスのベースプラクティス＞

BP8 リスク対応のしきい値に従って、リスクの影響を緩和するもしくは避けるための処置を行っている

プロセスの目的（SPEAK-IPA 版より引用）

＜プロジェクト管理プロレスの目的＞

プロジェクト管理の目的は、プロジェクトの要求事項及び制約との関連で、プロジェクトが製品及び／又はサービスを産出する為に必要なアクティビティ、タスク、及び資源を特定し、確立し、調整し、かつ監視することである。

＜リスク管理プロレスの目的＞

リスク管理の目的は、組織及びプロジェクトレベルの両方で、リスクを継続的に特定し、管理し、かつ緩和することである。

【課題２】

プラクティスの実践状況

組織レベルのリスク管理戦略をそのままプロジェクトで使用している。プロジェクト独自のリスク管理戦略を立てていない。

演習で取り上げるプラクティス（SPEAK-IPA 版より引用）

＜リスク管理プロセスのベースプラクティス＞

BP3 リスク管理戦略を実行している（プロジェクトレベルのリスク管理戦略をたててい

る）

【課題３】

プラクティスの実践状況

プロジェクトでは問題は発生しなかったので、再発防止策を講じた記録はない。

演習で取り上げるプラクティス（SPEAK-IPA 版より引用）

＜プロジェクト管理プロセスのベースプラクティス＞

BP11 プロジェクト内で発見された問題の再発を防止するための対策を講じている。

【課題４】

プラクティスの実践状況

発生した問題への対処はプロジェクトで行い解決したが、問題の原因分析や再発防止策の立案、実行はSEPG がプロジェクト終了後に行った。

演習で取り上げるプラクティス（SPEAK-IPA 版より引用）

＜プロジェクト管理プロセスのベースプラクティス＞

BP11 プロジェクト内で発見された問題の再発を防止するための対策を講じている。